

一般社団法人
島田建設業協会広報誌

island

vol. 143

平成27年4月1日発行

Zoom up インタビュー

衆議院議員 井林 辰憲 氏

常設委員会活動予定

現場紹介 言いたい放題

トピックス・災防日誌・協会だより



インタビュー Zoom Up



衆議院議員
井林 辰憲 氏

新年度を迎え、島田建設業協会の皆様には常日頃からご指導・ご支援頂いていることを改めて御礼申し上げます。

また、昨年12月の解散総選挙につきましては、年末のご多忙中での、突然の解散にも関わらず協会の皆様方から心温まる、絶大なご支援を賜り、二度目の当選をさせていただきました。頂いたご支援に応えるためにも、国政に邁進すると共に、豊かな郷土づくりの一助となつていく決意です。

さて、本稿執筆時点におきまして、平成26年度補正予算が成立し、平成27年度予算が審議中でございます。統一地方選が行われる今年は、何としても平成27年度予算を年度内に成立させ、4月1日から予算執行を可能にして切れ目ない景気対策を行っていかなければ

なりません。特に、平成26年度補正予算では公共工事関係は防災・減災対策が中心であり、改築事業費は平成27年度予算に計上されています。志太・榛原地域の基幹産業の一つと言つて差し支えない建設業の為にも、年度内成立を目指し努力を積み重ねてまいります。平成27年度予算につきましては、平成26年度予算に続いて公共事業費は増額となりました。民主党政権時代に大幅に削減された分すべてを取り戻したわけではありませんが、「必要なのは、必要」との認識のもと、さらなる予算確保に向け力を尽くしてまいります。

特に島田建設業協会管内では、国道1号バイパス拡幅事業の一環として大井川新橋の起工や国道473号バイパス延伸工事、大井川牛尾掘削事業等の大型プロジェクトや、焼津市大崩地区のトンネル新設工事等、改築から防災工事まで事業の進展を図っています。

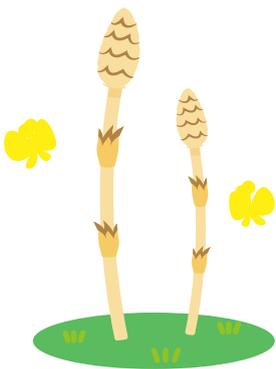
こうした事業の進捗を図ることも大切ですが、やはり大切なことは、「地元の事業は地元のお社で」の考えのもと地元企業への優先発注を行政側へ働きかけてまいります。さらには、各市町に於いても公共施設の老朽化による建て替え需要が発生しています。計画的な事業進捗を図る上でも、連携しながら補助金等の予算確保を行ってまい

ります。

昨年度も、二度に渡る単価見直しを行いました（執筆時点ではまだ一度ですが、やる予定です）。事業量が厳しい中ですが、受注工事ではしっかりと利益確保をして頂き、働く方の給与改善を実現できる状況を作り上げていかなければなりません。労働者不足の問題は、まだまだ道半ばです、今後も建設単価見直しを適宜行い、健全な業界発展に実現してまいります。

最後になりますが、島田建設業協会管内では、長島ダム・富士山静岡空港・新東名高速道路と大型事業が行われ、地域の飛躍的な発展に貢献してまいりました。地域発展の為にも、次なる大型プロジェクトの企画・立案も大きな仕事だと考えています。地域の将来を見通しながら、しっかりと取り組みを進めてまいります。

さまざま、課題や取り組みを書かせて頂きました。今年度も、変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。





平成27年度の 事業計画、収支予算が 承認される

(一社)島田建設業協会、建災防島田分会は、島田建設業会館において3月12日(木)14時から、会員総数56名のうち55名(うち委任状提出者21名)が出席し平成26年度第2回総会を開催した。

木村会長は冒頭の挨拶で、「一般社団法人に移行して4年目を迎えるが、数々の公益目的事業は、会員の皆様方のご協力により当初計画どおり、滞りなく実施することで大きな成果を挙げることができた。また、政権交代により公共事業の必要性が再認識され、昨年6月には公共工事の基本である“担い手3法”が改正された。協会全体では完工高が増加したが多くの会員の皆様としては、良くて横ばいか、減少しているとの思いから実感がともなっていない。このような状況の中、会員の皆様には引き続き経営努力をお願いしたい。」と挨拶した。

続いて議事に入り、はじめに平成27年度の一般社団法人島田建設業協会の第1号議案「平成27年度次行計画(案)」及び第2号議案「平成27年度会費徴収の賦課率(案)」並びに第3号議案「収支予算(案)」について、それぞれ事務局より説明し、満場一致で原案どおり承認された。

引き続き、建設業労働災害防止協会静岡県支部島田分会の第1号議案「平成27年度事業計画(案)」及び第2号議案「平成27年度収支予算(案)」についてそれぞれ事務局より説明し、満場一致で原案どおり承認された。

総会終了後に、島田土木事務所企画検査課担当者より「災害協定について」続いて維持管理課担当者より「災害対策基本法の改正について」それぞれ説明があり、今後想定される巨大地震への対応等理解を深めた。



1 総務委員会

「協会の運営や、事業活動が活発に進められること」を第一の目標として地域の活動に参加し、一般社団法人としての役割を果たします。

「交通安全運動」を年4回各地区で実施し、特に通学、通勤時の事故防止等、安全な生活基盤づくりに努力するとともに、「大井川マラソン」にも協賛し、スポーツの振興、地域の健康増進に尽くします。

また、会員相互の親睦と交流を深めるため「新年賀詞交歓会」を開催します。協会がなお一層発展するよう活動を予定しております。



2 広報委員会

今年度の活動目標は、広報誌のマンネリ化の解消を第1に掲げて、広報活動を進める予定ですので、皆様方の一層のご協力をお願いいたします。

現場紹介等、内容をパターン化して、皆様からの記事の提供がしやすいようにしてきましたが、一定時期を過ぎるとマンネリ化して、新鮮味が薄れ、興味が半減してしまいます。

協会の活動内容もそれぞれの委員会の活動内容を毎号報告して、協会の広報活動を活発に展開したいと思えます。

つきましては、各委員会の行事には広報委員が取材に出向きたいと思えますので、よろしくお願ひします。



常設委員会活動予定

当協会は、公益法人制度改革により平成24年4月、社団法人から一般社団法人島田建設業協会として再出発いたしました。

従来から行ってきた地域への貢献など、公益性の高い協会活動を織り込み、それぞれの委員会の活動予定をたてました。

5 環境・災害対策委員会

国・県等との間で「災害協定」に基づいた訓練を実施し、即応できる環境作りに努めます。

「自然災害への対応」「家畜伝染病の防疫体制」等、まだまだ対応しきれませんので、各マニュアル等の検討策、訓練を通じてのシミュレーションを関係機関に働きかけます。

「道路愛護運動」を実施して、環境美化運動を展開することにより、社会生活基盤の改善と、維持に貢献してまいります。



3 労務委員会

「親子現場見学会」をメインに活動を展開していますが、5月初旬から見学場所の選定をして、小学生以下の親子連れで、工事現場を見学して、普段触れることの少ない工事現場に立ち入って観察し、現場の説明を聞いて、土木建築工事に親しみをもって、担い手の芽になってくれるよう活動します。

6月下旬より、参加者の募集を開始して、大型バス1台程度の参加者を募ります。8月初旬に夏休中の行事となるように見学会を実施して、午前中に現場見学を済ませ、用意した弁当を全員で会食して、午後のひと時を参加者全員の親睦を深め思い出づくりをして4時ころまでには、協会に戻る予定ですので、より多くご参加ください。



6 安全委員会 (建災防島田分会災防委員会)

安全委員会は別組織ではありますが、建災防島田分会と表裏一体をなしており各地区から選出された、同じメンバー 16名で構成されております。

企業経営の根幹であります「安全第一」の徹底と各社の安全衛生管理活動の充実を図り、明るく、安心・安全な職場環境を作り出すと共に、より効果的な労働災害防止対策の実施が必要となります。

本年度も引続き毎月の安全パトロールを中心に、安全大会や各種技能講習会等を計画するなど例年通りの事業計画となっております。

積極的に事業展開した結果、無事故・無災害が達成できれば、大変ありがたいと思っております。

会員各社のご協力をよろしくお願ひいたします。



4 土木・建築委員会

委員会のエリアと活動範囲と内容が広いため現在は、島田工業高等学校の生徒を対象に高校生インターンシップをメインに、各表彰や、発注官庁との意見交換会を実施しています。

5月に島田工業高等学校の生徒を招いて、現場見学会を実施します。

7月には、インターンシップについての研修会を、学校で行い、夏休みを利用して希望生徒を、会員各社で受け入れて実施研修を行います。

8月は、島田土木事務所との共催で技術研修会を会員対象に実施します。

また、「大井川川まつり」は、島田土木事務所や島田市役所など大井川流域の市町の主催で、関係団体等との協賛で委員全員で参加してイベントを計画しています。

本年度は、官公庁発注機関と今後の建設業界について幅広く意見交換会を実施したいと思っています。



着
手
前



工 事 名 平成26年度基幹水利施設施設ストックマ
ネジメント(対策)白岩寺幹線地区用水路1
工事

工 事 簡 所 島田市阿知ヶ谷地内

工 期 平成26年8月28日～平成27年2月13日

施 工 者 株式会社 グロージオ

発 注 者 静岡県志太榛原農林事務所

現場代理人 吉永 宏

工 事 概 要

水路延長	433m
表面被覆工	1,433㎡
ひび割れ補修工	115m
目地補修工	136m
水路附帯工	1式
仮設工	1式

着
手
前



工 事 名 平成25年度ため池等整備(用排水)六間支
川地区排水路8工事

工 事 簡 所 藤枝市平島地内

工 期 平成25年9月26日～平成26年1月31日

施 工 者 株式会社 丸川組

発 注 者 静岡県志太榛原農林事務所

現場代理人 菅ヶ谷 一平

工 事 概 要

排水路工	60m
護岸工	378㎡

完 成



施 工 中



コ
メ
ン
ト

住宅街の中を通る農業用水路で、市道があるものの狭小
区間が多く車両通行止め規制をしておいたが近隣
住民の理解と施工業者の協力により計画通りの施工がで
きました。

現 場 紹 介

完 成



施 工 状 況



コ
メ
ン
ト

本工事は、雨が降ると一気に増水する河川でしたので、
日々天気予報を確認し、できるだけ降雨時には作業を行
はないよう工程を詰めることに苦労しましたが、地元、
関係者等のご協力で無事完成することが出来ました。

完成



施工状況

コメント

大井川河川敷沿いの町道を改築し拡幅する工事です。既設の道路、民家の入口等の協議に苦労しましたが、地元には便利な道路になると思います。

着手前



工事名 平成26年度(町)高郷田野口停車場線 防災・安全交付金(基幹市町道道路改築)工事 (道路拡幅工)

工事箇所 榛原郡川根本町上長尾地内

工期 平成26年5月22日～平成26年11月28日

施工者 株式会社 梶山組

発注者 静岡県島田土木事務所

現場代理人 川村 龍之介

工事概要 施工延長 175m

2号路側ブロック積工 1式

5号重力式擁壁 40m

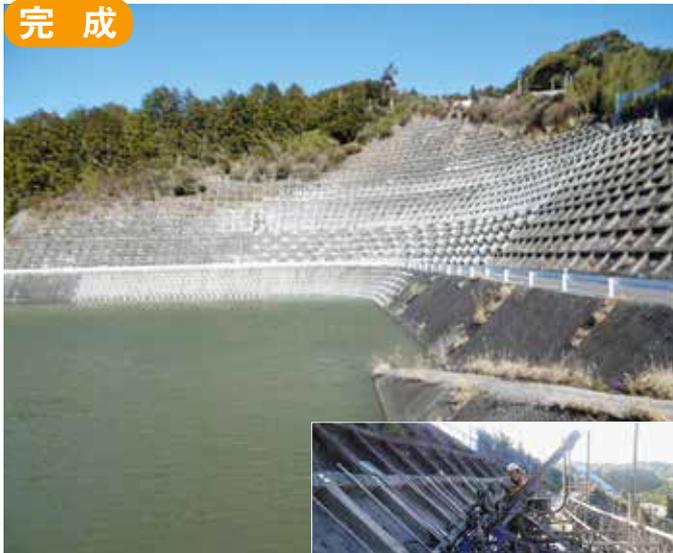
箱形パイプ1-1 69m

箱形パイプ2-1 55m

下層路盤 1,190㎡

安心・安全な暮らしのために…

完成



施工状況

コメント

時には強風や冷たい雨にさらされ日々のノルマを果たすべく、ひたすら孔を掘る連続の中で幾度となく心が折れそうになりましたが、互いに声を掛け合う事により士気高めチームワークで期限内に完工する事ができました。

着手前



工事名 平成26年度静岡空港空港周辺施設維持管理事業費工事(S3調節池法面対策工)

工事箇所 牧之原市坂口地内

工期 平成26年7月9日～平成27年1月30日

施工者 株式会社 加藤組

発注者 静岡県静岡空港管理事務所

現場代理人 久保田 千尋

工事概要 鉄筋挿入工 L=3～5m 746本

言いたい放題



請け負け業

工事請負契約書において、「発注者」と「受注者」は「各々対等な立場」と明記されている。ある検査監から「発注者」も「受注者」も目指しているものは全く同じで、安全かつ、より良い品質の公共施設の完成なのだから対等な立場なんだよと教えてもらった事がある。

しかしながら、建設業は「請負業」すなわち「請け負け業」であるため、対等な立場とは言えないのが現状だ。

限りある予算において、協議書を提出したが増額変更契約を認められない場合もあり、企業が自腹で施工する事がある。いわゆる「企業努力」と呼ばれるものである。

この「企業努力」が工事成績評定の評価に反映されるのなら我慢もするが、残念ながら工事成績評定に反映してくれない監督員が多くなっている気がする。それとも「企業努力」する事が当たり前だから高評価につながらないのだろうか？

嘘か誠か、一昔前は建設業協会で役所の監督員の評価をとりまとめ、その評価一覧を役所に届けて、役所内の人事考課の参考資料にしてもらっていたと聞いたことがある。もし本当なら、ぜひ協会で復活させて業者の生の声を届けてほしい。我々だって一人の県民・市民なのだから。



続・外国人労働者拡大…？

一時的に外国人労働者を大量にいれ東京オリンピック終了までに、全員帰国させ移民に繋がらないようにさせると聞きますが、本当に上手くいくのでしょうか？

絶対にごね出すと思います。たとえば、日本で子供が生まれたから日本の永住権・国籍よこせと裁判したり、一族郎党を呼び寄せ生活保護よこせと言ったり。

移民を受け入れた国は、治安や国民の不満など多くの問題を抱えて、うまくいってないのでは、報道などでもISIL（イスラム国）に参加している輩は、このような境遇な人と聞きます。

日本の伝統、文化、なにより日本国民のため、安易な研修生・外国人労働者という形をかえた移民受け入れには大反対。日本人が住みにくい日本になること間違いない。



地域活性化

都道府県レベルで長寿企業を顕彰する動きが広がっている。先駆けとなったのは「京の老舗表彰」。京都府が1968年に初めて実施し、昨年までに1835社を表彰した。

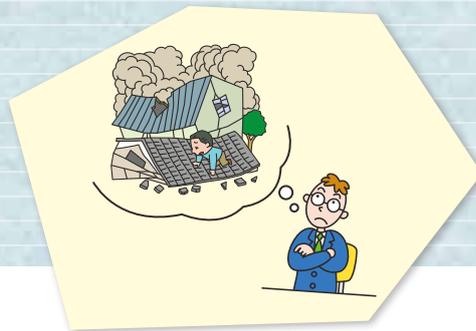
和歌山県も2007年度から3回にわたり、100年以上続く事業者を表彰した。老舗は地域の宝だという思いがうかがえる。

長く続く企業の多くが地域貢献を重視していることだ。

創業100年以上の企業は日本に2万5000超と世界で最も多いと言われている。

長寿企業をたたえるのは古き時代に思いをはせるためではない。

現在、直面するさまざまな制約を乗り越え、持続可能な社会を実現する手がかりを得るためだ。顧客や取引先、従業員、地域に必要とされてきた企業に学び地元の資源として活用することは地方創生の有力な手段になる。



BCP

東日本大震災以後、災害時事業継続計画「BCP」が注目され、社会的にもかなり認知されてきました。26年度からは静岡県の総合評価落札方式にも取り入れられ、私ども建設業でも、多くの企業が計画を策定した事と思います。「BCP」の重要性は誰しもが認めるところではありますが、いざ自社で策定してみると、なかなかハードルは高いと実感します。本当に大災害が発生した場合、どれだけの企業が計画通り実施出来るのか、はなはだ疑問です。重機の燃料の確保や搬送手段、非常食や飲料水等の備蓄、そして最も重要な人員の確保など、難題が山積みです。災害協定により、国・県・市から様々な出動要請が予想されますが、とても対応できそうにないのが実情です。「BCP」を策定した企業として、その実現に努力するのはもちろんですが、行政側も出動要請の指示系統の一本化など、整備を進めていただきたいと思います。

平成27年新年賀詞交歓会を盛大に開催

(一社) 島田建設業協会は、1月9日(金)に焼津グランドホテルにおいて新年賀詞交歓会を開催しました。

井林辰憲衆議院議員を来賓に迎え、会員合わせて45名が出席し盛大に新年を祝いました。

冒頭、木村会長は「自民党安倍政権においては、復興・防災対策、暮らしの安全・安心、地域活性化に重点的に取り組むとの方針を打ち出し、国土の強靱化とともに、地域活性化のためには公共事業が必要であるとの見解を示しておりますが、昨年4月には消費税が8%に増税され、景気の回復傾向に懸念される中、本年4月の消費税10%への増税が延期されたものの、現在の建設業界を取り巻く環境は、依然厳しい状況が続いている。一昨年4月から三度にわたる技能労働者の処遇改善を図るため、公共工事設計労務単価の大幅な引き上げが行われた。さらに、昨年6月には公共工事の基本となるインフラなどの品質確保とそ

の担い手を実現するため、密接に関連する「品確法」、入契法及び建設業法のいわゆる「担

い手三法」が一体として改正された。これにより、発注者の責務が明確化され、最新単価を反映した予定価格の設定、歩切りの根絶などへの効果が期待される。地域に根差した建設業者として、それぞれが自助努力を重ねて、難局を乗り切っていかざるを得ない。」と挨拶しました。その後1年ぶりに一堂に会した会員は、テーブルごとに話が盛り上がり、会員相互の親睦と情報交換に有意義な一時を過ごしました。



平成27年度 作業主任者講習会受講生募集

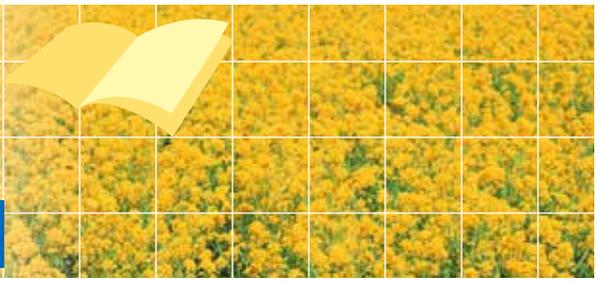


建災防島田分会では、各種作業主任者講習会を開催します。4月13日(月)より募集を開始しますので、申込み方法、受講料等詳しいことは、島田建設業協会のホームページをご覧ください。島田建設業協会へ電話(0547-37-7105)でお問い合わせください。

講習会種類	開催日	開催日	募集締切
足場の組立て等		6月2日、3日	5月19日
型枠支保工の組立て等		6月9日、10日	5月26日
地山掘削及び土止め支保工		6月16日～18日	6月2日

災防日誌

災害防止への取り組み



事故はなぜ起きるのか？

一般的に事故は不安全な状態、不安全な行動のどちらかでも起こり得ますが、一方だけで起こる確率は低いものです。しかし、この両方が重なったとき、事故は簡単に起きてしまいます。

ここで例えですが、道の真ん中に大きな穴があいています。これは不安全な状態。

ですが普通に歩いていて落ちる人はいません。しかし道の向こう側からセクシーなお姉さんが歩いてきたとします。男性ならどうしてもそちらに目を向けてしまうでしょう。

これが脇見という不安全な行動になります。結果、普通なら落ちるはずのない穴に落ちる確率はグンと上がってしまいます。

不安全な状態、不安全な行動のどちらか1つを無くすことで事故の多くは防げるということの例え話でした。

もうひとつ、現場において大切な“ルール”を守ることについて。

ルールに従って作業することは安全について大切なことだということは誰もが理解していることですが、人間なら持っている特性に近道、省略行為というものがあり、それらを優先し過ぎるとルール違反という行為につながります。

確かに近道、省略行為をすることによって、仕事ははかどり、作業スピードはアップするかもしれませんが、安全を犠牲にした場合は取り返しのつかないことになるかもしれません。



ルールとは一体何か？

ルールとは物事を安全に進めるためにできた約束事です。つまりほとんどの場合において、きちんとルールを守っていれば危険な目に合うようなことはありません。

ルールを守ることによって安全を確保できます。

ルールを守らなければならないと思うと窮屈なものに感じてしまうがちですが、自分自身を守るものだと思えばしっかり守ることができるのではないのでしょうか。

さて、今回安全パトロールで伺った現場は、水門の耐震補強工事。河川を大型土のうで閉め切り、水替えを行ってからの工事は、本体補強よりも仮設工事が大変だったとのことでした。

作業員のみなさんは救命ジャケット、安全帯を着用し、現場内も整理整頓され、気持ちのよい現場パトロールでした。年度末に向けて、焦らず気を引き締めて無災害で竣工してもらいたいです。ご安全に。



(M・M)

携帯電話から

スマートフォン

流れ

今時代は、もはや電話ではなくパソコンに電話機能が付いたものと言ったほうが早い「スマートフォン」が主流です。一昔前までは、小型軽量化を競っていた携帯電話ですが、今スマートフォンは、より画面が大きく、機能が沢山あるかを競っています。「大から小へ」時代から逆戻りの様な「小から大」への転換か？どこまでこの流れが続くのか。大は小を兼ねるとは良く言われるが、このまま行くと、いよいよ電話付きパソコンが発売？なんて事も考えられますね。タブレットとは、「平板、書字板」という意味ですが、意味は「携帯」とは関係ないです。し、もはや携帯することの方が億劫になる程ですね。それこそ、大昔、人類が石板に文字を書き遺した時代をイメージするくらいです。時代は、繰り返すのか。人間は、機能は進化するが本能的にそこに戻るのでしょうか。

F・K

協会だより ～協会のうごき～

● 総会

- 第2回総会 3月12日(木) 当協会
 ・(一社) 島田建設業協会
 第1号議案 平成27年度事業計画(案)について
 第2号議案 平成27年度会費徴収の賦課率(案)について
 第3号議案 平成27年度収支予算(案)について
 ・建設業労働災害防止協会静岡県支部島田分会
 第1号議案 平成27年度事業計画(案)について
 第2号議案 平成27年度収支予算(案)について

● 新年賀詞交歓会

1月9日(金) 焼津グランドホテル

● 理事会

- 第5回理事会 1月9日(金) 焼津グランドホテル
 ・県協会第7回理事会の概要について
 ・役員任期満了に伴う改選について
 ・各種表彰推薦候補の決定について
 ・予算総会(3月)の開催日程について
 ・新年賀詞交歓会の開催について
 第6回理事会 2月27日(金) 当協会
 島田建設業協会関係
 ・平成27年度会費について
 会費徴収の賦課率について
 会費について
 賛助会費について
 ・平成26年度第2回総会提出議案について
 ・退会届の受理について
 ・退会した会員の表彰(特別功労記念品)について
 ・県協会第9回理事会の概要について
 ・県中小建設業協会第1回理事会の概要について
 ・今後の主要行事の開催日程について
 建災防島田分会関係
 ・平成26年度第2回総会提出議案について

● 正副会長会議

- 第7回会議 1月9日(金) 焼津グランドホテル
 ・予算総会(3月)の開催日程について
 ・第5回理事会提出議案について
 ・新年賀詞交歓会の開催について
 第8回会議 2月27日(金) 当協会
 ・平成26年度第6回理事会提出議案について
 ・建産連表彰候補者の推薦について
 ・県協会第9回理事会の概要について
 ・県中小建設業協会第1回理事会の概要について
 ・今後の主要行事の開催日程について

● 常設委員会委員長会議

- 第1回委員会 2月4日(水) 当協会
 ・平成27年度各委員会年間事業計画の検討について
 ・平成27年度予算案の検討について

● 広報委員会

- 第10回委員会 1月23日(金) 当協会
 ・広報誌VOL.143号の企画
 第11回委員会 3月6日(金) 当協会
 ・広報誌VOL.143号の校正
 第12回委員会 3月13日(金) 当協会
 ・広報誌VOL.143号の最終校正

● 環境・災害対策委員会

- 地震対策オペレーション2015への参加
 ・1月16日(金) 静岡県交通基盤部・島田土木事務所主催
 ・衛生携帯電話(島田土木所有)及び災害情報システムを使用した被災情報の伝達訓練
 ・災害応急対策業務別緊急連絡網地区別統括 10社参加

災害時対応における意見交換会への参加

- ・1月20日(火) 島田土木事務所主催
 ・災害応急対策業務別緊急連絡網地区別統括等
 協会・12社 延べ17人参加
 災害時における道路管理者・業界協会団体合同会議
 ・2月3日(火) 中部地方整備局静岡国道事務所会議室
 ・災害時の実効性を高めるための業界間連携時の課題及び
 災害協定内容に関する意見交換 協会・1社 2名参加
 災害時応援協定締結事業者との研修・情報交換会及び
 行政職員研修(危機管理)
 ・2月3日(火) 県総合研修所 もくせい館会議室
 ・委員3名参加
 大雪時の協力者あっせん(除雪応援要請・応諾)訓練
 ・2月13日(金) 県交通基盤部主催
 ・3地区4社参加(県除雪用タイヤチェーン貸与社)
 ・除雪応援幹旋調整、要請・応諾訓練
 除雪用重機タイヤチェーン装着訓練
 第2回静岡県中部地域道路啓開検討会
 ・3月4日(水) 県藤枝総合庁舎別館会議室
 ・協会1名参加

● 建災防島田分会

- 災防委員会
 ・第2回 2月20日(金) 当協会
 平成27年度事業計画について
 K Y指導者講習会次第及び講師について
 作業主任者技能講習会について
 安全ビデオの購入について
 安全パトロール
 ・第9回 1月22日(木) 雨天中止
 ・第10回 2月20日(金) 5地区
 ・第11回 3月10日(火) 5地区

● 退会者名のお知らせ

下記の方が退会されました。

会社名	代表者名	退会日
岩倉建設㈱	千葉 則秋	平成27年3月31日

会員数 55社(平成27年4月1日現在)

● 各種催事等

- 1月14日(水) 建産連賀詞交歓会(グランディエールブuketokai)
 1月22日(木) 中部地方整備局との道路メンテナンスに係る意見交換会(県建設業会館)
 1月22日(木) 県交通基盤部との意見交換会(県建設業会館)

● 今後の予定

- ・協会・建災防島田分会・島田地区建設事業協同組合監査
 日時 平成27年4月16日(木) 13:30～
 場所 当協会
 出席者 会長・監事
 ・安全祈願祭
 日時 平成27年4月21日(火) 10:00～
 場所 大井神社(島田市)
 出席者 島田分会役員、災防委員、国・県関係機関
 ・K Y指導者養成講習会
 日時 平成27年4月22日(水) 9:00～
 場所 当協会
 ・平成27年度定時総会
 日時 平成27年5月20日(水) 14:00～
 場所 当協会
 ・島田地区建設業労働災害防止安全大会
 日時 平成27年7月3日(金) 13:00～
 場所 島田市金谷生きがいセンター 夢づくり会館

【表紙解説】 焼津市坂本「高草川沿い」

河津桜の鮮やかなピンク色にメジロが楽しそう…
 焼津市も春ですね。。。

